

第3回 長崎南北幹線道路ルート選定委員会 議事概要

1. 前回のまとめ、委員からの意見への対応

<結果>

- 「道路トンネル非常用施設設置基準」の改定を踏まえB区間の評価を再検討したが、第2回委員会の結論である第3案が最良という評価は変わらないことを確認した。

2. 地域住民との意見交換会の結果と対応

<結果>

- 地域住民の意見等も踏まえながら、今後のルート選定作業を進めていく。

<主な意見と回答>

- 「地域生活に必要な施設」とは、具体的にどのような施設を想定しているのか。
⇒具体的な生活利便施設を想定したもので、その施設が支障すると代替地の確保も難しいため、その利便施設が遠くなり、生活が不便になるという意見があった。(事務局)

3. ルートの2次選定 (A区間)

<結果>

- 第2案(左岸ルート)を選定することとする。ただし、屋内プールの移転が生じないような構造も可能な限り検討すること。

<主な意見と回答>

- 公園利用者への影響を少なくするために、具体的にどのような配慮が考えられるのか。
⇒具体的な検討はこれからだが、支障となる各施設の機能をできるだけ確保できるように市としっかり調整しながら進めていく。(事務局)
- 工事に際し交通規制が生じ、その期間は第1案の方が長くなると思うがどうか。
⇒第1案(右岸ルート)は市街地を通過するため、第2案(左岸ルート)と

比較して、規制時間が長くなるのではないかと考える。(事務局)

○プール横の道路に橋脚を立てて、プールをかわしつつ河川への張り出しも小さくできないか。

⇒詳細な検討をしないとはっきりしたことは言えないが、可能性はある。ご指摘の案も含め、どのような案が一番良いかということを考えていく必要がある。(委員長)

○屋内プールを回避する方法はないのか。

⇒プールを回避するために、1車線ずつに分離させる構造や、張り出し構造を門型構造に変えるなど、プールが移転しなくて済む可能性もあると理解していただければと思う。(委員長)

4. ルート全体のとりまとめ

<結果>

- A区間からC区間について、各区間で選定したルートを確認した。
- 提言をとりまとめるにあたり、配慮を求める事項を確認した。

<主な意見>

- 医療の立場から長崎南北幹線道路は、高度な機能を持つ医療施設へのアクセス向上に大きく寄与することから、茂里町から近い長崎大学附属病院へのアクセスについては、配慮してほしい。
- 技術的にいろいろな工夫をし、可能であればプールを移転しないで済むようなことを考えてほしい。
- 西彼杵道路と合わせて事業の早期進捗に取り組んで欲しい。

5. 今後の手続き

<結果>

- 都市計画決定までの流れを確認した。

<主な意見と回答>

特になし。

(以上)